

## 勉強の仕方を考える

- 音読と書き取りを繰り返して暗記し、学習効果を上げよう -

開倫塾

塾長 林 明夫

### 1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。お陰さまで、この放送は今年で22年目に入りました。皆様が熱心に聴いて下さっているお陰であると思います。心から感謝申し上げます。高校入試が終わりましたが、皆さんよく勉強されたことと思います。当塾のある先生は、受験生の本番直前の姿はまるで観音様のようにこうごうしく見えるとおっしゃっていました。皆さんそのくらい熱心に勉強したということですね。

さて、この番組では、21年前よりずっと、「どのようにしたら勉強ができるようになるか」というお話をさせていただいております。

### 2. 英語の勉強方法を考える - 猪口邦子さんから学ぶ -

(1) 私は、国会議員としては厚生労働委員会の委員長をやられて御活躍なさっている茂木敏充衆議院議員を存じ上げていますが、もう一人、素晴らしい国会議員の方を知っております。その方は、以前国連の大使をなさっていた猪口邦子さんです。猪口さんとは、昨年シンガポールで開催された東アジアに関する世界経済会議で親しくお話をさせていただいて以来、いろいろ勉強させていただいております。猪口さんは、昨年10月12日発行の「日本経済新聞」にコラムを書かれ、それを私に送って下さいました。猪口さんについて少し紹介させていただくと、国会議員の前は上智大学の教授をなさり、また、軍縮(軍備縮小)の国連大使を務められた方です。

(2) そのコラムでは、10代前半にブラジルのサンパウロにあるアメリカン・スクールに通われた時のお話を紹介しています。英語がわからなければ授業がわからないので、必死に、それこそ死に物狂いで英語を勉強なさったそうです。この世を諦めたつもりで、自らに修練を課したそうです。

(3) その勉強方法は、音読(声を出して読むこと)を繰り返すことと、声を出して読んだことを暗記(全部覚えること)の2つに尽きるということです。例えば、単語を覚えるときは、カードやノートをいくつも作り、毎日せっせと声を出して読んで書く。一度覚えた単語も、毎日最初から繰り返す。意味を知り、綴(つづ)りはアルファベットをそのまま覚える。「りんご」は「a.p.p.l.e」のようにです。この英語の勉強の仕方は、とてもおもしろく、ためになるそうです。

- (4) 単語カードを作り、新しい単語も一度覚えた単語も繰り返し繰り返し音読し書く練習をして、使える単語を1つでも多くすれば、まずは本が読めるようになります。単語の次は、定型の文を丸暗記します。すると、英作文が書けるようになります。応用をきかせるには、頭に収まっている単語を入れ替えて当てはめればよいのです。
- (5) この方法は、いろいろな場面で活用できます。例えば、軍縮大使になった時は、このやり方で国際法のいろいろな条文をほぼ丸暗記したそうです。相手国との交渉時に、交渉相手が「15条22項は...」と言いながらファイルを開いてその条文を探しているときに、それを誦(そらん)じている猪口さんはすかさずその条文を口にする。すると、心理的に優位に立つことができたとのことでした。
- (6) 国会議員となった今は、外国からお客様をお呼びすることが多くなったそうです。毎日のように英語を使って仕事をした軍縮大使の時と比べ、英語力が少し鈍ったとお感じになられた猪口さんは、朝の十数分を使って、英字新聞のヘラルド・トリビューン紙の一面の記事を音読しているそうです。日本語と英語とでは、話すときに使う筋肉が違い、表情や身振り・手振りも違うので、音読は筋力トレーニングにもなるそうです。
- (7) 論語にも、「学而時習之、不亦説乎(まなびて ときに これを ならう、また よろこばしからずや。)」ということばがあります。「時習之(ときに これを ならう)」とは、復習することです。つまり、勉強したら繰り返し復習することが大事だということです。

### 3. おわりに

- (1) この衆議院議員の猪口邦子さんの勉強方法は、すべての科目に通じます。まずは音読して、次に、書いて書いて暗記するのが効果的です。世の中には成績のよい方と成績の奮(ふる)わない方がいますが、両者の差はこれだけです。どちらも同じ話を聴いているのですが、成績のよい方は繰り返し暗記をします。一方、成績のかんばしくない方は、学校の授業だけでおしまいになっています。これで、偏差値は20も30も違ってくるのです。偏差値が70ある人は、ほとんどの高校、大学に受かります。ところが、40くらいの方は、受かる学校が減り、それによって選択肢の少ない人生を歩むこともあります。
- (2) 勉強をして成績を上げれば上げるほど、偏差値を上げれば上げるほど、選択肢の多い豊かな人生を歩むことが可能になります。ですから、すべての勉強において、十分「理解」したことについては、音読、書き取りを繰り返し、暗記することに徹して下さいね。

以上

- 2008年7月10日加筆 -